

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の状態判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	その他サービス 〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・今月は葬儀の依頼が非常に多く、予約もたくさんもらっている。また、遺品整理も、業者が初めてだというくらいの量の依頼を受けている。この傾向はますます強くなる。
	○	百貨店（経理担当）	お客様の様子	・ターミナル駅の再開発による商業施設との競合が一服し、客足も戻りつつある。ただし、食品や歳暮需要が依然として厳しい。また、物価高騰の影響もあり、活発な消費行動にはつながっていない。気温が下がったことで、冬物衣料の動きが良いのが好材料である。
	○	コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・当店から300メートル以内に競合がコンビニを建設中である。商圈に更なる需要があると判断したとみられる。
	○	自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・来客数、客単価共に前年を上回る状況が続いている。
	○	その他専門店 〔酒〕（店長）	販売量の動き	・12月は酒販店にとって、非常に動きやすい時期である。インフルエンザや新型コロナウイルス感染症が流行して、飲食店ではキャンセルが非常に多いという話もあるが、ふだんの年よりも非常に短い期間で、後半に高額商材が集中する傾向があった。全体的に値段が高い設定も増えてきたが、10日の間に集中するということは近年余りみられない傾向である。それだけ状況が厳しいことの裏返しでもあったが、総じて売上が伸びている。
	○	スナック（経営者）	来客数の動き	・良い面と悪い面があるものの、全体としてはやや改善している。まず良い方は忘年会が前年と比べてかなり増えている。新型コロナウイルス感染症発生前までは戻っていないが、この様子なら来年以降も期待できる。悪い方はフリー客がかなり減ったことである。しばらく様子をみていたが、自転車で来店していた常連客が何組か来なくなっている。恐らく自転車の飲酒運転の取締り強化を受けてのことで、もう戻らない可能性がある。
	○	観光名所（職員）	来客数の動き	・今期はクリスマス前から積雪が豊富にあったため、近隣スキー場が早期にオープンしており、やや良くなっている。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・12月はボーナスの支給があり、年越しでいろいろと買物をしないとイケないという雰囲気だが、当商店街では、それは昔の話で、近頃は生活に直接結び付く店がなくなってしまって、客もほとんど大型店に行ってしまう。昔からある商店街は大変である。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・12月から、ここ数年なかった本格的な冬となり、ウィンタースポーツを楽しむ客が多くみられる。
	□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・既存店の来客数は安定し微増となっている。買上点数は減少しているものの、単価の上昇で前年よりもプラスとなっている。
	□	スーパー（店長）	販売量の動き	・買上点数は減少傾向である。
	□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・冬物商材が前年と比べて売れているものの、来客数は前年並みで推移している。
	□	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・冬物商材の販売で売上は前月を上回っているが、これは単に季節要因である。サービス部門は目標をクリアしているが、車両販売に関しては低迷している。ガソリンを含むあらゆる物の値上げに、客はかなりナーバスになっている。
	□	一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・年末年始や長期休暇に向けた消費控えが発生しているように見受けられる。
□	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・前年より忘年会関係の動きがあり、参加人数も多くなっている。しかし、全体的に法人関係は増加傾向にあるものの、週末等の個人利用は減少傾向にあり、戻らないままである。	

□	通信会社（社員）	販売量の動き	・テレビサービスの新規加入が、通常月と比べて増加している。ただし、解約も減っているわけではないため、純増数は辛うじてプラスになった程度である。
□	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	来客数の動き	・売上、来客数共に微増である。忘年会シーズンで、月の前半は団体予約が多くみられた。月の後半は年末年始となり、家族連れや学生等が多くなっている。
▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・年末らしい動きもなく、静かな年末である。野菜を始め、高値が続き、食料品や消耗品への出費が生活費の大半を占めている様子がうかがえる。必要な出費だけでは、売る側として施策の仕掛けが難しく、厳しい状況が続く。
▲	スーパー（経営者）	来客数の動き	・来客数は13%減少、売上は7%減少となっている。残念ながら11月は前年を上回っていたが、12月は落としてしまっている。1月も前年は注文をもらっていたが、現状、10万円以上の注文がなく、前年割れとなりそうな予感がある。ただし、4月から新規で病院の仕事が入る予定で、2割ほど増えそうなので期待している。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・今年は例年と比べて寒さが非常に早く来たため、来客数に伸びがなく、やや厳しい。売上の的にも良くないため、寒い時期は厳しい。
▲	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・クリスマス商戦は前年より予約が少なく、商材価格がかなり上がったため、売手側からしてもかなり厳しかった。売上を取れる月であるにもかかわらず、伸びていない。
▲	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・クリスマス商材が動かない。ホールケーキではなく小さなケーキ等を必要分だけ購入する客が目立っている。
▲	コンビニ（店長）	お客様の様子	・今月の天候はそれほど大きく荒れなかったものの、客の出足の波がなかなか激しく予測できない状況で、やや厳しい。
▲	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車の受注台数が減少傾向にある。受注残の解消も進み、売上も鈍化している。
▲	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・時節柄なのか、会社関係の忘年会が減っている。
▲	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・露天風呂改装の影響もあるが、個人旅行やインバウンドが新型コロナウイルス感染症発生前よりも増えている。また、人件費や材料費高騰分の価格転嫁による料金アップに対しても、特に問題なく受け入れられており、やや良い状況にある。しかし、コロナ禍を経て、企業、団体等の宴会は大きく減少しており、特に12月は忘年会需要が大きく減少し、3か月前と比較するとやや悪くなっている。
▲	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・受注量が減少してきている。物価上昇や原油価格高騰による足踏み状態がみられる。
▲	タクシー運転手	販売量の動き	・今年は8月までは順調だったが、9月から段々と悪くなり、11月は最悪の状況で前年比85%だったが、今月は、今のところやや持ち直して前年比90%くらいで終わりそうである。
▲	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・建設コストの上昇で、計画が延期や中止になる案件が増えている。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・歳末だというのに通りを行き交うのは勤め人のみで、買物客の姿はほとんどない。人の集まる場所はあるのだろうが、従来からの商店街は閑散そのものである。
×	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・政治が不安定で悪くなっている。
×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・物価高で、衣料品まで買おうという意欲がない客が多い。
×	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・年末の高級商材で売っているおせちだが、前年の80%と約20ポイント落としている。物価高の影響で、個人消費の高級商材への落ち込みがみられた月である。

	×	遊園地（職員）	来客数の動き	・イベント開催により集客に努めたが、有料人員に伸び悩みがみられる。加えて閑散期ということもあり、来客数は落ち込んでいる。
	×	ゴルフ場（副支配人）	お客様の様子	・予約の入る時期が遅くなっている。集客のためインターネット上で特別プランを公開したものの動きが鈍く、直前での予約キャンセルが目立っている。
企業 動向 関連	◎	*	*	*
(甲信越)	○	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・広告売上が前年比微増となっている。特に、通信販売やドラッグストアを中心に、ブラックフライデー等のイベント効果を狙った出稿も増加している。
	□	食料品製造業（営業統括）	競争相手の様子	・国産ワインのヌーヴォー人気もやや陰りがみえてきて、一時的なブームとなっている。また、スーパー、酒販店共に、在庫が目立っている。
	□	電気機械器具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・受注に関しては、変わらず同じ状況で受注できている。
	□	金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業の販売先の在庫調整改善が進まないことや中国を始めとしたパソコンやスマートフォン等、海外のIT関連需要の低迷が長引き、国内も弱い動きが続いている。非製造業では物価上昇に伴う買い控えから、小売業で売上が鈍化している。観光関連は海外需要が堅調である。
	□	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・依然として、インバウンドの増加により、観光業は好影響を受けているものの、物価上昇で国内消費については低迷が続いている。
	▲	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・商材受注量、ワークショップの予約数、どちらも減少している。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・以前と比べ見積依頼が減っており、受注にも勢いが無い。物価やエネルギーコスト等の高騰で不安材料も多い。
	▲	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・ルートセールスで宝飾店を訪問しても、どこの店も11月に引き続き今月も客が来ないとのことで仕入れはない。ここ3か月は売上ダウンしているとの話である。催事を行っても来場客が少なく、今後の見通しが立たない。
	▲	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・金額的には変わらないが、数量的に若干落ちている。
	×	*	*	*
雇用 関連	◎	—	—	—
(甲信越)	○	*	*	*
	□	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・クリスマス商戦時期だが、客に購買意欲がまるでなく、店頭での売上も伸びていないようである。クリスマスソングも例年より流れておらず、街中のクリスマスツリーも少なめであることからみても、消費に回るお金がないのだろうと推察する。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は3月から9月まで前年同月比で減少となっていたが、10月には主に警備業やスーパー等への派遣求人数の増加により前年同月比増加となり、今後の好転を期待した。しかし11月は製造業以外の幾つかの業種が減少し、再び前年同月比減少となった。12月は前年同月比で減少傾向にあり、景気動向は不透明な状況である。
	▲	*	*	*
	×	—	—	—